

令和7年10月7日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

「飼料用イネ現地研修会」および「飼料生産技術研修会」を開催しました

令和7年10月2日(木)、独立行政法人家畜改良センター熊本牧場(場長:山内洋志)
では、場内に設置した飼料用イネ19品種(比較品種:食用1品種を含む)の展示ほ場において、「飼料用イネ現地研修会」を、飼料生産ほ場においてドローンを用いたイタリアンライグラス播種に係る「飼料生産技術研修会」を(一社)日本草地畜産種子協会と共に開催しました。

本年度は例年実施している現地見学会に加えて、飼料生産ほ場での農業用ドローンを用いた播種の実演会を併せて実施しました。作業の省力化を目的として利用が拡大している農業用ドローンの播種実演とあり、参加者の皆様には大変興味を持って見学して頂けたように思います。残暑の厳しい中での開催となりましたが、九州地域を中心に40名以上の方々にご出席頂き、大変有意義な研修会となりました。今回の研修会が飼料増産や優良品種作物の普及拡大の一助となれば幸いです。

研修会開催にあたりまして、ご協力頂きました皆様並びに参加された皆様には改めて御礼申し上げます。

なお、飼料用イネの展示ほ場は11月中旬頃まで設置しておりますので、見学を希望の方は当場種苗課までご連絡ください。



研修会の様子

見学の申し込み先
(独)家畜改良センター熊本牧場 種苗課 川中・野方
電話:0968-84-3660
「日本の食卓改良と技術で守ります。」
～小さなタネから大きな牛まで～